

自然と文化科 活動記録

日時	2024年12月20日（金）10:00～15:20	担当者
場所	AM：大阪市淀川区民センターホール 公開講演会 PM：各種委員会 全体会議 班会議	文：木邨 圭子 写真：堂下登美子
備考	聴講者数 1班19名 2班18名 3班15名 4班19名計71名 当科以外6名	

公開講演会のテーマ 「最澄と空海～二人は何を目指したのか～」

講師 京都女子大名誉教授 瀧浪 貞子 先生

■ 講演要旨

比叡山に天台宗を開創したのが最澄であり、高野山に真言宗を開創したのが空海。804年二人は遣唐使船に乗って中国に渡る。この時最澄は比叡山で名声を得ていたのに対し空海は名も無き一僧侶にすぎなかった。ところが帰国後社会的立場は逆転し天皇や貴族たちは天台宗よりも密教に関心を持った。そこで最澄は空海に積極的に接近し密教の伝授を熱望するが結局は決別し別々の道を歩むことになる。



◎ 平安新仏教（大乘仏教）

今年は空海生誕1250年になり最澄は空海より7歳年上になる。二人が開創した天台宗と真言宗は平安新仏教（大乘仏教）と呼ばれる。それまでの仏教は奈良仏教（小乗仏教）と呼ばれ僧侶の集団が学問していただけだった。しかし平安新仏教は信仰すること（他者救済の教え）が大切と説いた。



◎ 二人の教え

最澄 法華経 人間を養成することが一番大切 言葉や文字を重視した。

空海 密教を重視 人間はどこから来て死んだあとはどうなっていくのか誰も分からない。

以心伝心を持って伝えることが大事 言葉や文字は必要がない。

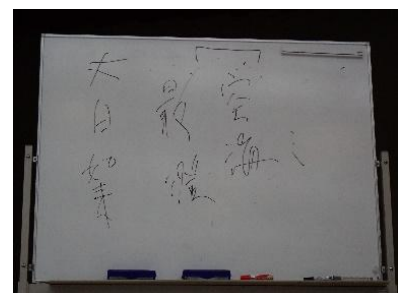
◎ 遣唐使船（804年）

最澄（38歳）空海（31歳）同じ遣唐使船に乗ったが二人は全く見知らぬ者同士だった。

最澄の目的 中国で天台宗法華経の奥義を深めること。

中国で奥義を伝授された。

空海の目的 密教の教え。密教の第一人者恵果から3ヶ月で密教のすべてを伝授された。



◎ 帰国後

最澄 密教を学ぼうと空海に教えを望んだが考えの違いで空海と決別した。その後東国で布教し、より天台宗の教えを深めていった。延暦寺で入寂56歳。伝教大師の諡号

空海 高野山金剛峯寺で密教の教えを広めた。高野山で入定62歳。弘法大師の諡号

（所感）二人とも平安新仏教の開祖であるが後に決裂しライバルになった。そのことが天台宗、真言宗を極めることになるのだが、高僧である二人の確執に人間臭さを感じ、雲の上の人のようにだったが親しみが持てました。